取り付けパーツ一覧 | 屋外・軒下ライン照明 電源内蔵

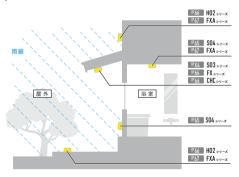
	バータイプ	付属のサドルで取り付ける	角度調整して取り付ける	上向き以外で取り付ける
			+角度可変合座(57/10/15')	S. C.
屋外	\$04(\$)-LED	0		ワイヤー付属
	SO4-LEDN	0	AB15 角度可度取付台廠	ワイヤー付属
軒下	\$03-LED	0		ワイヤー付属
	SO3-LEDN 41	0	AB15 角度可定取付台值	ワイヤー付属

単位:mm () はスクエア型カバー

屋外・軒下照明器具の使用場所例と注意事項

使用場所(例)

覧



屋外·軒下照明器具注意事項

- ●直射日光のあたる場所では使用しないでください。LED器具、LED モジュールの発熱や劣化、LEDの短寿命の原因となることがあります。 (HO2シリーズ・FYAシリーズは直射日光が当たる場所でも使用 可能ですが、一時的な点灯を除き日中の直射日光や西日の強く当たる 状態では点灯させないでください)
- ●サウナや業務用浴室など常時高温高湿となるところでは使用しない でください。
- ●塩素を使用しているプールなどには使用しないでください。 (FXAシリーズを除く)
- ●海の近くなどの塩害の影響を受ける可能性のある場所、温泉付近 などの腐食ガスが発生する場所など、錆や腐食の発生する場所では 使用しないでください。
- ●水没する恐れがある場所では使用しないでください。
- ●周囲温度は、LEDモジュールは-10°C~+35°C、LED器具は-5°C~ +35°C (SO4-LED:-10°C~+35°C SO3-LED:+5°C~+35°C) の範囲で使用してください。

周囲温度が高温または低温の場合、(特に寒冷地など) LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキの原因となります。

照明器具の耐塩害について

屋外照明器具の耐塩害性能

展外田の昭昭昭日け 通常の使用に耐えらる耐食性を有して いますが、特殊な環境で使用した場合は、短期間での発錆な ど不具合の可能性が高くなりますので、以下に示す環境下で は「重耐塩仕様」をご使用ください。

■飛来塩分の影響地域 (JIL1001-2009 照明用テーパーボール (鋼製) 解説からの抜粋) 日本海沿岸部

地域区分		飛来塩分量が銅の腐食に影響を与えると		
理期	E37	考えられる地域		
日本海		海岸線から 20km 以内		
沿岸部	11	海岸線から 5km 以内		
太平洋	沿岸部	海岸線から 2km 以内		
瀬戸内海沿岸部		海岸線から 1km 以内		
沖 縄		全地域		

◆注意事項

- ●上記に記載の海岸線からの距離は目安となっています。 次例のような地域特有の条件により塩害地域に該当する地 域が拡大する場合もあります。
- 従い 上記け これら他域内での耐塩性能を保証するもの でけありません。 勿象条件:海岸からの強い季節回 南西峡島かどの高温高
- 泥環増など。 地 形:高波が立ちやすい海岸形状、沿岸部に風をさえ
- ぎる林など遮へい物がないなど。 ●船上、海上の特殊施設や特殊な腐食環境(プール、温泉浴 室など) では、「重耐塩仕様」でも腐食が急速に進むため使 用しないでください。
- ●塩害地域内の建物軒下など、海塩の影響を受けながらも雨 水を受けない場所では、腐食が促進されるため定期的な塩 分洗浄をしてください。
- ●海水の塩分による直接的な影響の他、塗装など表面処理の 耐久性に影響を与えるような条件下では、横浩林の腐食に 影響を与える場合があるため、定期的な点検と適正な修理、 交換を推奨1.ます。

照明器具及び照明用ポールの耐塩害に関するガイド

一般社団法人 日本照明工業会 ガイド117:2010(抜粋)

1日的

近年 港湾施設の整備や海近公園の拡大かどに伴い 佐書が 予想される海岸付近に設置される昭昭施設が増すしている。 これら塩害が予想される地域に設置される昭明陽旦、昭明用 ボール (瞬間用ボールには「アーム」も含む。以下同様。) について十分な対策を示す指針がなく、塩害による腐食に 起因するトラブルが増加1.. 一般的な防錆対策以上の表面係 理、材料指定などが必要となってきた。このガイドは、協害 の影響を受ける地域に設置する照明施設に対して適切な防錆 処理が終されるとう其大的が使用材料及び実面処理を規定す るとともに、施工及び維持管理の要点を示し、耐塩害技術の 向上に資することを目的とする。

2 適用範囲

このガイドは、塩害の影響を受ける地域に設置される照明器 具及び照明用ポールの耐塩害に関する事項を規定する。照明 器具及び照明用ポールの防食は、重工業地帯での腐食性ガス、 冬季に使用される融雪剤及び凍結防止剤などについても十分 な検討が必要であるが、このガイドでは海岸地域の耐塩害に ついてだけ老庫する。なお、海水中に没して使用するもの。 常時海水がかかる場所に設置するもの。その他の水中照明器 具、地中埋込み形照明器具、トンネル照明器具などは、この ガイドの適用範囲外である。

3 耐塩害レベル

耐塩害レベルは、次の2段階とする。 a) 重耐塩:常時、飛来塩分が高濃度の地域に求められるレ

ベル b) 耐 塩:常時、飛来塩分があり、気象条件により高濃度

になることのある地域に求められるレベル それぞれのレベルを適用する地域は、海岸からの距離で単純 に線引きできるものではない。飛来塩分は海岸線の状況(外 海、内海、港湾、砂浜など)、海拔高さなどにより複雑な影 響を受けるため、地域特性によりレベルを判断せざるを得な い。既存の周辺諸設備の発銷状況などを考慮して、受け渡し 当事者間で協議、決定することを推奨する。

4 使用材料と表面処理

- 4.1 使用する照明器具及び照明用ポールの材料に対する表面 処理は、表 1 に示す塗料配号 A ~ G の中から塗料の特性を 考慮して適切なものを選定する。
- 4.2 塩害を受けると予想される地域に使用する照明器具、照 明用ポールの材料及びその表面処理は、設置される地域で要 求される耐塩害レベルに従って表2及び表3から選定する。 4.3 表 2 及び表 3 に示す上塗り塗料は、密閉タイプの照明器 具については外郭用、照明用ポールについては外面用の塗装
- 4.4 上塗り塗料の特性を生かすには下地処理の影響が大き く、表2及び表3に示す塗料の耐塩害レベルに対応した特 性を得るには、その塗料に適した下地処理を施すことが必要 である。
- 4.5 表 1 に示した塗料については、膜厚及び塗り回数により 耐塩害レベルに大きく影響する場合がある。表2及び表3 に素材別に推奨する塗装仕様を記載したが、実使用環境下で 要求される耐塩害レベルに合わせて当事者間で決定すること c) 輸送、施工又は使用中についたキズは速やかに補修塗装を が望ましい。

表 1 耐塩塗料特性表

塗料 記号	塗料名	塗装方法	照明器具	ポール	耐塩性	白重化	光沢保持性	遊療研究	コスト	ポール 塗り替え 年数
А	アクリル樹脂系塗料	焼付	•	•	0	0	0	0	中	7~10年
В	ウレタン樹脂系塗料	焼付	•	•	0	0	0	0	中	7~10年
В		常乾		•		0	0	0	中	7~10年
С	ポリエステル樹脂系塗料	焼付	•	•	0	0	0	0	中	7~10年
D	エポキシ変性メラミン樹脂系塗料	焼付	•	П	0	Δ	Δ	0	中	-
Е	フッ素樹脂系塗料	焼付	•	•	☆	☆	☆	0	商	15~20年
E		常乾	Г	•	☆	☆	☆	0	商	15~20年
F	アクリルシリコン樹脂系塗料	焼付	•	•	☆	0	0	0	中	7~10年
1		常乾	Г	•	0	0	0	0	中	7~10年
G	フタル酸樹脂系塗料	常乾	Г	•	Δ	Δ	Δ	Δ	佐	3~5年
記号	の意味は次の通り。 ●:適用	可、	Δ:	特	要.	0	便	. 0):,	ġ, Δ: ξ

- 注記1米空保持性及び白面化については防禁に加えて 目聴えを重調 する公園などに設置する場合に特に配慮する。(白亜化とは塗装面 の光沢がなくなり、白土のような表面になる現象をいう。チョー キングともいう)
- 注記2 塗膜硬度は砂などが海からの風で絶えず吹き付けられる場所に設 置する場合に考慮する。
- 注記3つフトについてけ 途跡材料者だけでかく丁程 設備の状況かど により影響を受けるため、目安としての表現とした。
- 注記 4 一般的に、條付途装された昭田規具の場合、設置後に補修途装さ れることは稀で、補修塗装が行われずに 耐用年数 10 年で使用終 了することを前提としていることから、塗替年数はポールのみと した。(耐用年数とは、錆が発生しても機能上、安全上問題が無く 使用できる期間をいう。)

表 2 昭明器旦の材料及び表面処理

耐塩害		18 M.III.88 B	表面処理	a.e		
レベル	2019	9条共初料	(表1の塗料記号)	184		
	SUS304		A·B·C·E 又は F	溶剤系塗料の場合は、2回焼付塗		
	アルモ	ADC-AC	A·B·C·E 又は F	将利先信料の場合は、Z回間付金 禁を搭載する。		
	含金	板・型材など	A·B·C·E 又は F	armero.		
重新塩			溶融亜鉛めっき後			
MERIT NA			A·B·C·E 又は F			
		鋼材		より高い防錆性能を要求される場		
			溶剤亜鉛めっき	所には、溶融面鉛めっき後、塗装		
				を推奨する。		
	SU	\$304 XII	A-B-C-D-F-XILE			
	SUS430					
	アルミ合金	ADC-AC	A·B·C·E 又は F			
		板・型材など	A·B·C·D·E 又は F			
		皮膜処理材	===	アルマイト処理又は同等以上の		
			m as as	コーティング		
	1000	処理網材	A-B-C-D-F VIDE	亜鉛めっき銅板又は同等以上の		
耐塩				コーティング		
		村 桐村	溶融亜鉛めっき後			
			A·B·C·D·E 又は F			
			溶融亜鉛めっき	より高い防錆性能を要求される場		
				所には、溶融面鉛めっき後、塗装		
l				を指揮する。		
			A-B-C-D-F-XILE	溶剤系塗料の場合は、2 回焼付塗		
$ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{eta}}}$	oxdot			装とする。		

表 3	照明用ポール	レの材料及び表面処

耐塩害	ボール材料	表面処理	60年	
レベル	W 191911	(表 1 の塗料記号)	M-5	
	SUS316 XIII	A-B-C-E XIZ F	より高い防錆性能を要求される	
	SUS304	A-B-C-E XIAP	所には SUS316 を推奨する。	
重耐塩	アルミ合金	A-B-C-E X t F		
	69.85 A	溶融亜鉛めっき後		
	8610	A-B-C-E 又は F		
	SUS304	A·B·C·E 又は F		
	アルミ合金	A·B·C·E 又は F		
		溶融亜鉛めっき後		
耐塩		A·B·C·E·F又はG		
	鋼材 "	溶融亜鉛めっき	より高い防錆性能を要求される	
			所には、溶験亜鉛めっき後、塗	
			を推奨する。	

5.施工及び維持管理方法について

- a) 海に隣接した地域で、高架下などの雨水のかからない場所 に設置される場合は、付着した塩水飛沫が雨水により洗い 流されないため、腐食が促進されることがある。定期的な 清掃により塩分の洗い流し作業を実施する。
- h) 照明用ボールの地際部は腐食しやすいため、基礎を地表に 必ず出し、勾配をつけるなど水切り対策を施すことが望ま Lax
- d) 照明用ポール基礎のコンクリート骨材中に塩分が含まれて いないよう配慮する。

6 その他塩害に対する留意点

- a) 開放タイプの昭明器旦では、塩分の付着によるソケット部 などの絶縁低下に対する処置を考慮する。
- b) 密閉タイプの照明器具では、ランプ交換、清掃などメンテ ナンスの際に開閉する部分のパッキンの材質は、耐候性を 考慮したものを選定する。
- c) 塩害地域で、かつ重工業地帯と重なる場合は、耐薬品性な ども考慮する。
- d) 接合部に使用するボルト類は、溶融亜鉛めっきボルト又は SUS304以上のものを使用する。

366 DNL DNL 367